

アウル通信



2023 7 1発行第 231号

『最後の日の如く今日を生きる』

いつも笑っている人は明日泣いているかもしれません
いつも元気なあの人も明日病に倒れるかもしれません
いつも隣にいる人は明日そこにはいないかもしれません
いつもそこにあった場所は明日にはないかもしれません
明日いつも当たり前にあるものが壊れてしまうかもしれません
明日自分は命を失うかもしれません
明日大切なあの人は空に旅立つかもしれません
明日、もしかしたら本当に天変地異が起きるかもしれません
だけど明日夢が叶うかもしれません
もしかしたら明日は今までで一番幸せかもしれません

『最後の日の如く今日を生きる』

これは、僕が30年程前に大変お世話になり、とても尊敬していました、江差青年会議所の方からのメッセージです。確か、鉄工所を営んでいた社長さんでした。

その方は、40歳を目前にして、志半ばで亡くなりました。くも膜下出血でした。突然頭が痛い言い、あっと言う間の出来事だったそうです。

僕は、とてもリスペクトしていたので、相当ショックだったことを思い出します。それからでしょうか、今日という日を、最後の日の如く一所懸命に生きようと思うようになりました。

でも、人は、時に日頃の些細な出来事に埋もれてしまい、なんだか惰性で生きてしまっている時があります。ふとそんな自分に気づいた時、この言葉が浮かんできます。亡くなられた先輩が「最後の日の如く今日を生きなさい」「今を生きるんだよ」と、あの優しく心強く芯のある声で語りかけてくれているような気がします。

皆さんは如何ですか？

感謝

ア ウ ル 宮 崎 直 人

今月の題字は

丹崎良子様^が書いて下さいました。



先日は、運営推進会議へご参加下さり本当にありがとうございました。ご家族様の声を直に聞けた事、本当に感謝しております。

次回は、8月を予定しております。日定が決まり次第ご連絡致しますので皆様お気軽にご参加宜しくお願い致します



系編集後記

約1年振りのウッドデッキでのバーベキューくもり空でしたが過ごしやすい気温で皆様楽しんでおりました。また、皆様でおいしいお肉が食べたいですね。7月も楽しい事が沢山ありますように
※

入居のご相談について

ご家族が「もしかしたら認知症かも？」

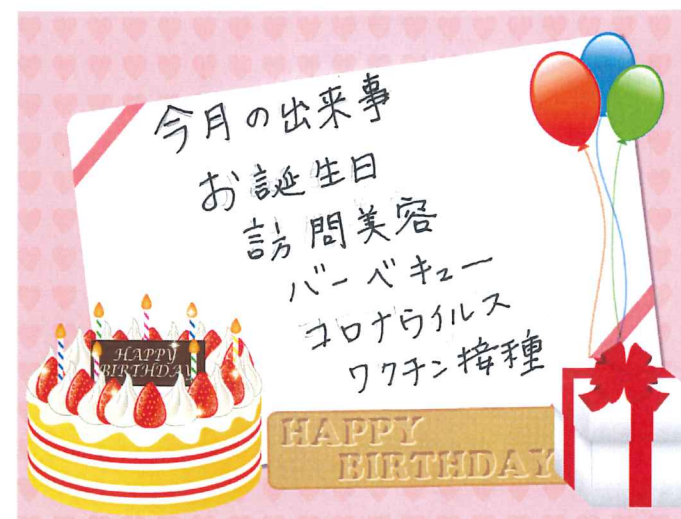
グループホームに入居したい

グループホームを見てみたい、などなど

気軽にご相談、ご見学ください。

また、今入居されている方のご家族の皆様も生活の相談等、気軽に声をかけて下さい。

担当窓口 宮崎



発行責任者 宮崎直人



おいしい



最近どう？



ろう下のソファは
憩いの場

髪を切ると
自然と笑顔がこぼれます



家事をする
真剣なまなざし



家事はまかせて!!



手際良く



大きいわ



酉作のもの
おいしかったぞ